

・参考資料

様式 - 2 ~ 様式 - 4 を手計算で使用する場合の手順

マニュアルの本文に記載した様式 - 1 ~ 6 のうち、様式 2 -、3、4 について、あらかじめ用意した E x c e l データファイルを使用せず、各種様式用の紙を使って手計算する場合の使用手順、を以下に示す。なお、その他の使用手順、については、マニュアルの本文に記載した手順と同じである。

【使用手順 - 1】「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の作成手順と作成例（様式 - 2 を手計算で使用する場合）

「様式 - 1 現地点検チェックシート」の記載データを「様式 - 2 現地点検結果集約シート」に転記し、危険度診断モデル式に使用する集約データを作成する。

様式 - 2 の作成例は、愛媛県内18箇所のうち10箇所に関して作成した結果を示す。

手順 様式 - 1 の [C 歩道の植栽] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の C 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [D 中央分離帯の植栽] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の D 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [G 沿道施設] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の g1(左側)、g2(右側)欄にそれぞれ記入する。

手順 様式 - 1 の [K 歩行者横断施設] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の K 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [M 乱横断防止施設] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の M 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [O 非高齢者の横断歩行中事故] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の O 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [a 道路形状] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の aa 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [h 沿道状況] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の hh 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [k 12時間混雑度] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の kk 欄に記入する。

手順 様式 - 1 の [m 指定最高速度] の 印番号を「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の mm 欄に記入する。また、[事故データ欄] 及び [備考欄] をそれぞれ記入する。

様式 - 2 現地点検結果集約シート(使用例) - 愛媛 -

記入者氏名	
工事事務所名	
課 係名	
氏名	

■ 現地点検結果に基づき入力する項目 (= カテゴリ集約前の生データ:「様式 - 1 現地点検チェックシート」のカテゴリ番号)
 ■ 自動的にカテゴリ集約される項目 (カテゴリ集約前集約後の対応表については資料 - 3参照。)
 ■ モデル式に入力する項目 (= カテゴリ集約後の説明変数値)

整理番号	箇所	路線番号	調査票番号	事故データ(事故図から読み取り入力)					説明変数別カテゴリカルデータ(現地調査等から入力)													備考								
				車線方向		歩行者横断方向		非高齢者横断中事故件数	1. 視認性					2. 横断施設他			3. 道路環境			4. 道路状況			5. 交通状況			車線区分	人口	H9センサスNO	写真番号	台帳附頁
				1上り	2下り	3その他(支線)	4非発生		1左	2右	3進行方向	4対面方向	5非発生	C	D	C	G	K	M	O	a	h	k	m						

< 愛媛 > 18箇所 / 34箇所

1	3	11	120	2	1	0	3		5				19	17			11		1	2	2	2	2	4	2	1	156.075	103	37	3
2	4	11	153	1	1	0	3		5				19	15			13		1	2	3	2	4	2	1	160.375	104	4	4	
3	6	11	249	1	2	0	3		5				19	19			20		1	2	1	2	3	2	1	182.271	110	6	6	
4	7	11	409	1	2	0	3		5				12	19			3		1	2	6	1	5	2	1	188.500	112	7	7	
5	9	11	321	2	2	0	15		5				37	15			13		1	2	6	3	3	2	1	207.795	116	43	9	
6	10	11	199	2	1	1	15		12				17	40			13		1	1	3	1	3	1	2	237.323	124	44	10	
7	11	11	718	1	1	1	15		12				19	40			13		1	1	3	1	3	1	2	237.547	124	11	11	
8	13	33	20	2	1	0	15		5				34	17			12		1	2	3	3	3	2	1	88.417	131	47	13	
9	14	33	17	2	2	0	13		4				16	40			3		2	2	6	2	4	2	1	109.035	133	48	14	
10	18	56	332	2	2	0	24		5				19	34			20		1	2	3	4	4	2	1	279.571	164	52	18	

箇所 11

様式 - 1 現地点検チェックシート(2/2)(使用例) - 愛媛 -

記入者所属 - 氏名	
路線名(距離)	国道11号(237.547km)
箇所(所在地)	11

点検区分	点検項目	点検内容	集約後のカテゴリ	判断基準	印記入欄	備考
1. 視認性	C 歩道の植栽	対象箇所の手前10m区間の歩道の植栽状況と横断歩行者に対する視認性を確認し、「資料 - 1 現地点検の判断基準[C]」を参考にして、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は1箇所のみ)	1:あり 2:なし 3:該当なし	11 信号交差点で植栽帯が低層化されていないため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 12 信号のない交差点で植栽帯が低層化されていないため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 13 沿道敷地の出入口で植栽帯が低層化されていないため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 14 信号のない交差点で植栽帯が高く、また植栽帯も低層化されていないため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 15 植栽帯は低層化されているが、中・高木が連続しているため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 16 植栽帯は高いが、植栽帯の中・高木が連続しているため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 17 その他(植栽の設置位置が適切付近、枝張り大、葉多い、幹太い等)で、横断歩行者に対する視認性が悪い。 21 信号交差点で植栽帯が低層化されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 22 信号のない交差点で植栽帯が低層化されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 23 沿道敷地の出入口で植栽帯が低層化されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 24 信号のない交差点で植栽帯が低く、また植栽帯も低層化されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 25 植栽帯が花壇で低層化されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 26 植栽帯は低層化され、中・高木の間隔も長い。横断歩行者に対する視認性がよい。 27 植栽帯はなく、植栽帯の中・高木の間隔も長い。横断歩行者に対する視認性がよい。 28 その他(適切付近に植栽はない、枝張り小、葉少ない、幹細い等)で、横断歩行者に対する視認性がよい。 3 歩道に植栽がない。		
		D 中央分離帯の植栽	1:あり 2:なし 3:該当なし	11 交差点(分離帯開口部を含む)で中央分離帯の植栽が低層化されていないため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 12 中央分離帯に低木植栽はないが、高木が連続しているため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 13 中央分離帯にかかわるその他の要因で、横断歩行者に対する視認性が悪い。 21 交差点で中央分離帯の植栽が除去されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 22 交差点で中央分離帯の植栽が低層化されているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 23 中央分離帯の低木が連続していないため、横断歩行者に対する視認性がよい。 24 中央分離帯の緑化方法がその地(草花、苔の低い雑草等)で、横断歩行者に対する視認性がよい。 3 中央分離帯の植栽が連続しており、横断歩行者に対する視認性がよい。 4 中央分離帯に植栽がない。 5 中央分離帯がない。		
		G 沿道施設(建物・塀・庭木等)	あり なし	11 沿道の建物・塀・庭木等が連続しているため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 12 沿道に看板類が立っているため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 13 沿道敷地の垣根が連続しているため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 14 暗い色の建物が背景になるため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 15 樹木が背景になるため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 16 側方余裕は大きい。建物や樹木が背景になるため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 17 側方余裕は大きい。林立した建物(ビル、家屋)が背景になるため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 18 側方余裕が小さい。建物や樹木が林立した背景になるため、横断歩行者に対する視認性が悪い。 19 その他(電柱、電線柱、照明柱、歩道橋、防犯カメラ、横断歩行者に対する視認性が悪い。 31 沿道に建物・塀・庭木等がないため、横断歩行者に対する視認性がよい。 32 交差点の手前に建物・塀・庭木等がないため、横断歩行者に対する視認性がよい。 33 沿道が農地(田・畑)であるため、横断歩行者に対する視認性がよい。 34 沿道が空地、残地、公園、池などのオープンスペースであるため、横断歩行者に対する視認性がよい。 35 道路境界に白色の転落防止柵やガードパイプが連続しているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 36 白壁の建物やコンクリート構造物が連続しているため、横断歩行者に対する視認性がよい。 37 沿道建物と道路境界との間に庭・駐車庫、用水路などがあるため、横断歩行者に対する視認性がよい。 38 上記以外で、横断歩行者に対する視認性がよい。 40 多車線道路の場合。		

点検区分	点検項目	点検内容	集約後のカテゴリ	判断基準	印記入欄	備考
2. 横断施設	K 歩行者横断施設	対象箇所が交差点の場合、前後30m区間の歩行者横断施設(横断歩道、横断歩道橋、地下道の有無を確認し、「資料 - 1 現地点検の判断基準[K]」を参考にして、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は該当箇所すべてに記入)	1:あり 2:なし	11 流入側に横断歩道が設置されている。 12 " 横断歩道橋が設置されている。 13 " 地下歩道が設置されている。 14 " 横断施設(横断歩道、横断歩道橋、地下歩道)が設置されていない。 a1 流出側に横断歩道が設置されている。 a2 " 横断歩道橋が設置されている。 a3 " 地下歩道が設置されている。 a4 " 横断施設(横断歩道、横断歩道橋、地下歩道)が設置されていない。 3:該当なし		
	M 乱横断防止施設	対象箇所の前後30m区間の乱横断防止柵(連続した植栽帯、かさ上げした植栽帯、防止看板、歩・車別帯を含む)の有無を確認し、「資料 - 1 現地点検の判断基準[M]」を参考にして、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は1箇所のみ)	1:あり 2:なし	1 乱横断防止柵なし。 2 乱横断防止柵あり。		
3. 道路環境	O 非高齢者の横断歩行中事故	既存データに基づき、対象箇所における最近(3・4年の間)の非高齢者の横断歩行中の事故の有無を確認し、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は1箇所のみ)	1:あり 2:なし	1 非高齢者の横断歩行中の事故あり。 2 非高齢者の横断歩行中の事故なし。		
4. 道路状況	a 道路形状	対象箇所の道路形状を確認し、「資料 - 1 現地点検の判断基準[a]」を参考にして、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は1箇所のみ)	1:信号交差点 2:押しボタン式信号機または感知式信号のある交差点 3:無信号交差点 4:接続道路(車両通行可)のある中央分離帯 5:接続道路(車両通行可)のない中央分離帯 6:上り以外の単路部(車両出入口あり) 7:上り以外の単路部(車両出入口なし)			
	h 沿道状況	対象箇所の沿道状況を確認し、「資料 - 1 現地点検の判断基準[h]」を参考にして、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は1箇所のみ)	1:0.0、その他市街地 2:その他市街地 3:平地部 3.1:地部 4:山地部			
5. 交通状況	k 12時間混雑度	対象箇所の12時間混雑度(平日)を最新の「道路交通センサス」で確認し、右欄の該当箇所に印を記入。 (印は1箇所のみ)	1:1.0未満 2:1.5未満 3:1.5以上	1 0.5未満 2 0.5以上で1.0未満 3 1.0以上で1.5未満 4 1.5以上で2.0未満		
	m 指定最高速度	対象箇所の指定最高速度を最新の「道路交通センサス」で確認し、右欄の該当箇所に印を記入。(印は1箇所のみ)	1:40km/hr 2:50km/hr 3:60km/hr	1 40km/hr 2 50km/hr 3 60km/hr		

事故データ等記入欄	
調査票番号	718
車線方向(印)	1上り 2下り 3その他(支線) 4非発生
歩行者横断方向(印)	1左 2右 3進行方向 4対面方向 5非発生
非高齢者横断中事故件数	1(件)

備考	
車線区分(印)	1. 2車線 2. 2車線(暫定) 3. 4車線 4. 6車線以上
H9道路交通センサスNO	124
写真番号	11
台帳附頁ページ	11

(次ページに続く)

【使用手順 - 2】「様式 - 2 現地点検結果集約シート」の作成手順と作成例(続き)(様式 - 2 を手計算で使用する場合)

「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」を使用し、各変数(C1、D1、D2、C2、G、G1、K1、aa1、hh1及びkk1)の集約数値を判定する。

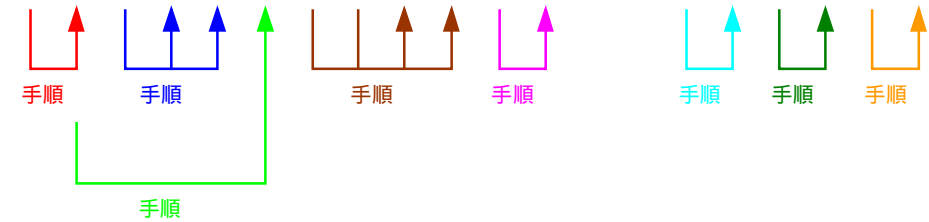
- 手順 C欄の数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきC1の数値を判定し、C1欄に記入する。
- 手順 D欄の数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきD1、D2の数値を判定し、D1、D2欄に記入する。
- 手順 C1及びD2欄の数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきC2の数値を判定し、C2欄に記入する。
- 手順 g1及びg2欄の数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきG、G1の数値を判定し、G、G1欄に記入する。
- 手順 Kの数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきK1の数値を判定し、K1欄に記入する。
- 手順 aaの数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきaa1の数値を判定し、aa1欄に記入する。
- 手順 hhの数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきhh1の数値を判定し、hh1欄に記入する。
- 手順 kkの数値と「資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表」に基づきkk1の数値を判定し、kk1欄に記入する。

様式 - 2
現地点検結果集約シート(使用例) - 愛媛 -

記入者氏名
 工事事務所名 _____ 課 係名 _____ 氏名 _____

■ 現地点検結果に基づき入力する項目 (= カテゴリ集約前の生データ:「様式 - 1 現地点検チェックシート」の カテゴリ番号)
■ 自動的にカテゴリ集約される項目 (カテゴリ集約前集約後の対応表については資料 - 3参照。)
■ モデル式に入力する項目 (= カテゴリ集約後の説明変数値)

整理番号	事故データ(事故図から読取り入力)				説明変数別カテゴリカルデータ(現地調査等から入力)														備考													
	箇所	路線番号	調査票番号	車線方向 1.上り 2.下り 3.その他(交線) 4.非発生	1.視認性				2.横断施設他				3.道路環境		4.道路状況								5.交通状況									
					C	D	C1	D1	D2	C2	g1	g2	G	G1	K	M	O	a					h	k	m							
＜愛媛＞ 18箇所 / 34箇所																																
1	3	11	120	2	1	0	3	3	5	5	3	3	19	17	1	1	11	1	1	2	2	1	2	1	4	3	2	1	156.075	103	37	3
2	4	11	153	1	1	0	3	3	5	5	3	3	19	15	1	1	13	1	1	2	3	2	2	1	4	3	2	1	160.375	104	4	4
3	6	11	249	1	2	0	3	3	5	5	3	3	19	19	1	1	20	2	1	2	1	1	2	1	5	3	2	1	182.271	110	6	6
4	7	11	409	1	2	0	3	3	5	5	3	3	12	19	1	1	3	3	1	2	6	3	1	1	5	3	2	1	188.500	112	7	7
5	9	11	321	2	2	0	15	1	5	5	3	1	37	15	2	1	13	1	1	2	6	3	3	2	3	2	2	1	207.795	116	43	9
6	10	11	199	2	1	1	15	1	12	1	1	1	17	40	3	1	13	1	1	1	3	2	1	1	3	2	1	2	237.323	124	44	10
7	11	11	718	1	1	1	15	1	12	1	1	1	19	40	3	1	13	1	1	1	3	2	1	1	3	2	1	2	237.547	124	11	11
8	13	33	20	2	1	0	15	1	5	5	3	1	34	17	2	1	12	1	1	2	3	2	3	2	2	1	2	1	88.417	131	47	13
9	14	33	17	2	2	0	13	1	4	4	3	1	16	40	3	1	3	3	2	2	6	3	2	1	4	3	2	1	109.035	133	48	14
10	18	56	332	2	2	0	24	2	5	5	3	2	19	34	3	1	20	2	1	2	3	2	4	3	4	3	2	1	279.571	164	52	18



(参考) 資料 - 2 現地点検結果の 카테고리集約表

点検区分	点検項目	点検内容	点検結果の 카테고리集約方法
1. 視認性	b. 道路植栽により視認性が阻害されている	C 歩道の植栽 歩道に設置されている植栽が横断歩行者の姿を隠すことによるため、運転者の横断歩行者に対する確認(または横断歩行者の走行車両に対する確認)が遅れる恐れがあるか [C C1に集約]	1: あり(=11. ~ 17.) 2: なし(=21. ~ 28.) 3: 該当なし (歩道に植栽がない) 現地点検の判断基準参照
	D 中央分離帯の植栽 中央分離帯の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 [D D1, D2に集約]	1: あり(=11. ~ 13.) 2: なし(=21. ~ 24.) 3: 該当なし(中央分離帯の植栽が連続しており、物理的に横断が困難) 4: 該当なし(中央分離帯に植栽がない) 5: 該当なし(中央分離帯なし=2車線) 現地点検の判断基準参照	
	C 道路(歩道または中央分離帯)の植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性 [C2]	1: あり(=11. ~ 17.) 2: なし(=21. ~ 28.) 3: 該当なし (歩道に植栽がない) 現地点検の判断基準参照	

点検区分	点検項目	点検内容	点検結果の 카테고리集約方法
2. 横断施設	d. 横断歩道(横断歩行者)に対する視認性が悪い	G 沿道施設 沿道施設(建物、樹木等)に起因する横断者等確認遅れの危険性 [G G1に集約]	1: 両側であり 2: 左側のみあり 3: 右側のみあり 4: なし g1(左側) - あり(=11. ~ 19.) - なし(=31. ~ 38. 40.) g2(右側) - あり(=11. ~ 19.) - なし(=31. ~ 38. 40.) 現地点検の判断基準参照
	g. 横断歩道に沿った位置に横断施設がない	K 歩行者横断施設 横断歩道上に横断施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性 [K K1に集約]	1: あり(=11. ~ 13.) 2: なし(=20.) 3: 該当なし(横断の恐れがない) 現地点検の判断基準参照
i. 乱横断を防止する施設がない	M 乱横断防止施設 乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性 [= M]	1: あり 2: なし 現地点検の判断基準参照	

点検区分	点検項目	点検内容	点検結果の 카테고리集約方法
3. 道路環境	k. 最近重大事故が発生した	O 非高齢者の横断歩行中事故 この3~4年の間に、非高齢者の横断歩行中事故が発生したか否か(モデル構築にはH7~H10を使用) [= O]	1: あり 2: なし
4. 箇所の道路状況	a. 道路形状 [a a a1に集約]	・交差点が単路部か ・信号の有無、種類	1: 信号交差点部(1~2) 2: 無信号交差点部(3~4) 3: 単路部(5~7) 注) 交差点部とは、交差点及びその付近(停止線より30m以内)をさす 現地点検の判断基準参照
	h. 沿道状況 [h h h1に集約]	・沿道特性	1: D I D、その他市街地(1~2) 2: 平地部(3) 3: 山地部(4)
5. 箇所の交通状況	k. 12時間混雑度(平日) [k k k1に集約]		1: 1.0未満(1~2) 2: 1.5未満(3) 3: 1.5以上(4~5)
	m. 指定最高速度 [= m]		1: 40km/h 2: 50km/h 3: 60km/h

注1) 点検項目欄の [1] は、現地点検チェックシート「カテゴリ番号」の集約対象であることを示している。
 注2) 点検項目の判断基準(C、D、G、K、M、a)は[資料 - 1]参照。
 注3) 点検項目(h、k、m)は、最新の「道路交通センサス」による。

【使用手順 - 1】 「様式 - 3 危険度診断シート」 の作成手順と作成例 (様式 - 3 を手計算で使用する場合)

「様式 - 2 現地点検結果集約シート」を使用し、「様式 - 3 危険度診断シート」を作成する。

様式 - 2、様式 3 の作成例は、愛媛県内18箇所のうち10箇所に関して作成した結果を示す。

様式 - 2

現地点検結果集約シート(使用例) - 愛媛 -

記入者氏名

工事事務所名	課 係名	氏名
--------	------	----

- 現地点検結果に基づき入力する項目 (= カテゴリ集約前の生データ: 様式 - 1 現地点検チェックシート のカテゴリ番号)
- 自動的にカテゴリ集約される項目 (カテゴリ集約前・集約後の対応表については資料 - 3 参照。)
- モデル式に入力する項目 (= カテゴリ集約後の説明変数値)

手順 「様式 - 2 現地点検結果集約シート」各地点の C2、G1、K1、M、O、aa1、hh1、kk1、mm欄の数値を、「様式 - 3 危険度診断シート」各地点の [カテゴリ-NO. 各欄] へ記入する。

手順 各地点の [カテゴリ-NO. 各欄] の数値に対応するカテゴリ-ウェイトを様式左側の [説明変数のカテゴリ-NO. とカテゴリ-ウェイト] 欄から読みとり、各地点の [カテゴリ-ウェイト各欄] へ記入する。

手順 各地点の [カテゴリ-ウェイト] 欄 C2~mm) の合計値を計算し、 [サンプルスコア欄] に記入する。

手順 各地点の [サンプルスコア欄] の数値と [判別群の境界値] を比較し、サンプルスコアが境界値より大きい場合は「群」、境界値より小さい場合は「群」を各地点の [判別群判定結果欄] へ記入する。

手順 各地点の [サンプルスコア欄] の数値を、様式上欄の [危険度評価ランク] にあてはめて評価ランクを読みとり、各地点の [危険度評価ランク欄] へ記入する。

整理番号	箇所	路線番号	調査票番号	事故データ(事故図から取り入れ)					説明変数別カテゴリカルデータ(現地調査等から入力)														備考				
				車線方向	歩行者横断方向	非高齢者横断中事故件数	1. 視認性			2. 横断施設他		3. 道路状況	4. 道路状況		5. 交通状況		車線数区分	特殊スト	H9センサSNO	写真番号	台帳附員						
							C	D	C2	K	M		a	h	k	m											

1	3	11	120	2	1	0	3	3	5	5	3	3	19	17	1	1	11	1	1	2	2	1	2	1	4	3	2	1	156.075	103	37	3
2	4	11	153	1	1	0	3	3	5	5	3	3	19	15	1	1	13	1	1	2	3	2	2	1	4	3	2	1	160.375	104	4	4
3	6	11	249	1	2	0	3	3	5	5	3	3	19	19	1	1	20	2	1	2	1	1	2	1	5	3	2	1	182.271	110	6	6
4	7	11	409	1	2	0	3	3	5	5	3	3	12	19	1	1	3	3	1	2	6	3	1	1	5	3	2	1	188.500	112	7	7
5	9	11	321	2	2	0	15	1	5	5	3	1	37	15	2	1	13	1	1	2	6	3	3	2	3	2	2	1	207.795	116	43	9
6	10	11	199	2	1	1	15	1	12	1	1	1	17	40	3	1	13	1	1	2	3	2	1	1	3	2	1	2	237.323	124	44	10
7	11	11	718	1	1	1	15	1	12	1	1	1	19	40	3	1	13	1	1	1	3	2	1	1	3	2	1	2	237.547	124	11	11
8	13	33	20	2	1	0	15	1	5	5	3	1	34	17	2	1	12	1	1	2	3	2	3	2	2	1	2	1	88.417	131	47	13
9	14	33	17	2	2	0	13	1	4	4	3	1	16	40	3	1	3	3	2	2	6	3	2	1	4	3	2	1	109.035	133	48	14
10	18	56	332	2	2	0	24	2	5	5	3	2	19	34	3	1	20	2	1	2	3	2	4	3	4	3	2	1	279.571	164	52	18

様式 - 3 危険度診断シート(使用例) - 愛媛 -

...検討対象箇所のサンプルスコア算出用
注) モデル式には、『ケース5 (9 変数) 』を使用

手順

工事事務所	松山
-------	----

《危険度評価ランク》

危険度が高い 危険度はやや高い 危険度はほとんどない 危険度は全くない	(= 発生群に属する可能性がある) (= 発生群に属する可能性がややある) (= 発生群に属する可能性はまずない) (= 発生群に属する可能性はほとんどない)	0.672 < サンプルスコア -0.083 < サンプルスコア < 0.672 -0.616 < サンプルスコア < -0.083 サンプルスコア < -0.616
--	--	--

説明変数	項目名	説明変数のカテゴリ-NO. とカテゴリ-ウェイト						箇所	調査票番号	箇所	調査票番号	箇所	調査票番号	箇所	調査票番号	箇所	調査票番号			
		カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト	カテゴリ-NO.	カテゴリ-ウェイト			
C2	道路植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性	1:あり 0.003	2:なし -0.775	3:該当無し 0.075	4:該当無し 0.075	5:該当無し 0.075	3	R11-120	4	R11-153	6	R11-249	7	R11-409	9	R11-321				
G1	沿道施設(建物・樹木等)に起因する横断者等確認遅れの危険性	1:あり 0.364	2:なし -0.777	-	1	0.364	1	0.364	1	0.364	1	0.364	1	0.364	1	0.364				
K1	横断動線上に横断施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性	1:あり 0.340	2:なし 0.038	3:該当無し -1.581	1	0.340	1	0.340	2	0.038	3	-1.581	1	0.340	1	0.340				
M	乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性	1:あり 0.055	2:なし -0.216	-	1	0.055	1	0.055	1	0.055	1	0.055	1	0.055	1	0.055				
O	最近における非高齢者の横断歩行中事故の発生の有無	1:あり 0.646	2:なし -0.109	-	1	0.646	1	0.646	1	0.646	1	0.646	1	0.646	1	0.646				
aa1	道路形状	1:信号交差点部 -0.864	2:無信号交差点部 0.126	3:準路部 0.974	1	-0.864	1	0.126	2	0.126	2	-0.864	1	0.974	2	0.974				
hh1	沿道状況	1:DD,その他市街地 0.498	2:平地部 -0.096	3:山地部 -0.081	1	0.498	1	0.498	1	0.498	1	0.498	1	0.498	2	-0.096				
kk1	12%混雑度(平日)	1:1.0未満 0.185	2:1.5未満 -0.062	3:1.5以上 -0.058	1	-0.062	2	-0.062	1	-0.062	1	-0.062	3	-0.058	2	-0.062				
mm	指定最高速度	1:40km/h -0.295	2:50km/h -0.053	3:60km/h 0.718	2	-0.295	2	-0.053	2	-0.053	2	-0.053	2	-0.053	2	-0.053				
判別群							1群:発生	最大値	2.247	サンプルスコア	0.248	サンプルスコア	1.238	サンプルスコア	-0.054	サンプルスコア	0.165	サンプルスコア	1.416	
							2群:非発生	平均値	0.672	判別群判定結果	1群	判別群判定結果	1群	判別群判定結果	1群	判別群判定結果	1群	判別群判定結果	1群	判別群判定結果
							境界値	-0.083	危険度評価ランク	1群	危険度評価ランク	1群	危険度評価ランク	1群	危険度評価ランク	1群	危険度評価ランク	1群	危険度評価ランク	1群
							平均値	-0.616												
							最小値	-2.317												

【使用手順 - 1】「様式 - 4 改善効果試算シート」の作成手順と作成例（様式 - 4 を手計算で使用する場合）

「様式 - 3 危険度診断シート」の判定結果を使用し、「様式 - 3 改善効果試算シート」を作成する。

様式 - 4 の作成例は、様式 - 3 で検討した愛媛県内10箇所のうち、最もサンプルスコアが大きく出た1箇所を対象として、操作可能な政策変数のカテゴリーを組み合わせ対策案ごとにカテゴリー変更後のサンプルスコアを算出して示したものを。

手順 「様式 - 3 危険度診断シート」の[危険度評価ランク]で“(危険度が高い)”と判断された箇所の[カテゴリーNO.各欄]の数値を、「様式 - 4 改善効果試算シート」左上欄の[カテゴリーNO.各欄]へ記入する。

手順 上記記入した[カテゴリーNO.各欄]のカテゴリーNO.を変更した場合に、[サンプルスコア]の低減が可能と考えられる[説明変数]を[政策変数]として選定し、[選定欄]に“*”を記入する。ただし、[説明変数欄]に“*”印を付したO、hh1、kk1、mmの4変数はカテゴリー操作が不可とし、政策変数に取り上げないものとする。

手順 「様式 - 5 対策イメージカード総括表」の[カテゴリー変化を実現するための対策内容]を参考にしつつ、[政策変数]の具体的な変更内容を検討するとともにそれらの組み合わせによる対策案を設定し、各対策案毎に[政策変数]の変更後の[カテゴリーNO.]を記入する。

手順 各対策案で変更対象としない[説明変数]の[カテゴリーNO.]各数値と[カテゴリー-ウェイト]各数値を左欄(手順で記入したもの)から転記する。

手順 各比較案の[カテゴリー-ウェイト欄C2~mm]の合計値を計算し、[サンプルスコア欄]に記入する。

手順 各比較案の[サンプルスコア欄]の数値と[判別群の境界値]を比較し、サンプルスコアが境界値より大きい場合は「1群」、境界値より小さい場合は「2群」を、各比較案の[判別群判定結果欄]へ記入する。

手順 [左欄(対策なし)の サンプルスコア - 各対策案の サンプルスコア]を計算し、各対策案の[サンプルスコアの変化量欄]へ記入する。
また、[各対策案の サンプルスコアの変化量 / 左欄の サンプルスコア]を算定し、[サンプルスコア変化率欄]へ記入する。

手順 各対策案の[サンプルスコア変化率]を大きい順にランク付けし、[変化率順位欄]へ順位を記入する。

手順 各対策案の[判別群判定結果]に基づき、「1群」の場合は“*”を、「2群」の場合は“ ”を、各対策案の[非発生群へ移行可否欄]へ記入する。

様式 - 4
改善効果試算シート(使用例) - 愛媛 -

... 検討対象箇所の改善効果(サンプルスコア変化量)算出用
注)モデル式には、'ケース5(9変数)'を使用

工事事務所	松山	路線名	国道11号	箇所 - 調査票番号	11 - 718
-------	----	-----	-------	------------	----------

説明変数	項目名	説明変数のカテゴリーNO.とカテゴリー-ウェイト						箇所 11 R11-718 カテゴリー- ウェイト	調査票番号 R11-718	今回政策 変数として 選定:	対策案NO. 1		対策案NO. 2		対策案NO. 3		対策案NO. 4									
		カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト				カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト								
		1:あり	2:なし	3:該当無し	0.075	1	0.003				2	-0.775	1	0.003	2	-0.775	1	0.003	2	-0.775						
C2	道路植栽に起因する横断者等確認遅れの危険性	1:あり	0.003	2:なし	-0.775	3:該当無し	0.075	1	0.003		C2	手順	2	-0.775	C2	手順	1	0.003	C2	手順	1	0.003				
G1	沿道施設(建物・樹木等)に起因する横断者等確認遅れの危険性	1:あり	0.364	2:なし	-0.777	-	-	1	0.364		G1	手順	1	0.364	G1	手順	2	-0.777	G1	手順	1	0.364				
K1	横断動線上に横断施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性	1:あり	0.340	2:なし	0.038	3:該当無し	-1.581	1	0.340	手	K1	手順	1	0.340	K1	手順	1	0.340	K1	手順	2	0.038				
M	乱横断を防止する施設がないことに起因する横断施設外横断の危険性	1:あり	0.055	2:なし	-0.216	-	-	1	0.055	順	M	手順	1	0.055	M	手順	1	0.055	M	手順	2	-0.216				
O	* 最近における非高齢者の横断歩行中事故の発生の有無	1:あり	0.646	2:なし	-0.109	-	-	手順	1	0.646	O	*	手順	1	0.646	O	*	手順	1	0.646	O	*	1	0.646		
aa1	* 道路形状	1:信号交差点部	-0.864	2:無信号交差点部	0.126	3:単路部	0.974	2	0.126		aa1	*	2	0.126	aa1	*	2	0.126	aa1	*	手順	2	-0.864			
hh1	* 沿道状況	1:D/D,その他市街地	0.498	2:平地部	-0.096	3:山地部	-0.081	1	0.498		hh1	*	1	0.498	hh1	*	1	0.498	hh1	*	1	0.498	hh1	*	1	0.498
kk1	* 12h混雑度(平日)	1:1.0未満	0.185	2:1.5未満	-0.062	3:1.5以上	-0.058	2	-0.062		kk1	*	2	-0.062	kk1	*	2	-0.062	kk1	*	手順	2	-0.062			
mm	* 指定最高速度	1:40km/h	-0.295	2:50km/h	-0.053	3:60km/h	0.718	1	-0.295		mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295				
判別群		1群:発生		最大値	2.247	サンプルスコア		1.675	判別群判定結果		1群		サンプルスコア		0.897	判別群判定結果		1群		サンプルスコア		0.534	判別群判定結果		1群	
		2群:非発生		平均値	0.672	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		0.778	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.141	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.404	判別群判定結果		1群
				境界値	-0.083	サンプルスコア		0.778	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.141	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.404	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.292
				平均値	-0.616	サンプルスコア		0.778	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.141	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.404	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.292
				最小値	-2.317	サンプルスコア		0.778	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.141	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.404	判別群判定結果		1群	サンプルスコア		1.292
注)*:非政策変数 (=カテゴリー操作不可)						対策効果		サンプルスコア変化率(%) 変化率順位 非発生群へ移行可否 (可:×/否)		46% 14位		68% 12位		16% 15位		77% 11位		手順		×		手順		×		

対策案NO.	5	6	7	8	9	10	11	11'	12	13	14	15															
対策カードNO.																											
説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト	説明変数	カテゴリー- NO.	カテゴリー- ウェイト				
C2	手順	2	-0.775	C2	手順	2	-0.775	C2	手順	2	-0.775	C2	手順	2	-0.775	C2	手順	2	-0.775	C2	手順	2	-0.775				
G1	手順	2	-0.777	G1	手順	1	0.364	G1	手順	2	-0.777	G1	手順	2	-0.777	G1	手順	1	0.364	G1	手順	2	-0.777				
K1	1	0.340	K1	1	0.340	K1	手順	2	0.038	K1	手順	2	0.038	K1	手順	2	0.038	K1	手順	2	0.038	K1	手順	2			
M	1	0.055	M	手順	2	-0.216	M	手順	1	0.055	M	手順	2	-0.216	M	手順	1	0.055	M	手順	2	-0.216	M	手順	2		
O	*	手順	1	0.646	O	*	1	0.646	O	*	1	0.646	O	*	1	0.646	O	*	1	0.646	O	*	1	0.646			
aa1	2	0.126	aa1	2	0.126	aa1	手順	1	-0.864	aa1	手順	1	-0.864	aa1	手順	1	-0.864	aa1	手順	1	-0.864	aa1	手順	1	-0.864		
hh1	*	1	0.498	hh1	*	手順	1	0.498	hh1	*	手順	1	0.498	hh1	*	手順	1	0.498	hh1	*	手順	1	0.498	hh1	*	1	
kk1	*	2	-0.062	kk1	*	手順	2	-0.062	kk1	*	手順	2	-0.062	kk1	*	手順	2	-0.062	kk1	*	手順	2	-0.062	kk1	*	手順	
mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295	mm	*	1	-0.295	mm	*	1	
サンプルスコア	-0.244		サンプルスコア	0.626		サンプルスコア	-0.395		サンプルスコア	0.263		サンプルスコア	-0.758		サンプルスコア	0.112		サンプルスコア	-0.515		サンプルスコア	-1.536		サンプルスコア	-0.666		
判別群判定結果	2群		判別群判定結果	1群		判別群判定結果	2群		判別群判定結果	1群		判別群判定結果	2群		判別群判定結果	1群		判別群判定結果	2群		判別群判定結果	2群		判別群判定結果	2群		
サンプルスコアの変化量	1.919		サンプルスコアの変化量	1.049		サンプルスコアの変化量	2.07		サンプルスコアの変化量	1.412		サンプルスコアの変化量	2.433		サンプルスコアの変化量	1.563		サンプルスコアの変化量	2.19		サンプルスコアの変化量	3.211		サンプルスコアの変化量	2.341		
	115% 8位			63% 13位			124% 7位			84% 10位			145% 4位			93% 9位			131% 6位			192% 2位			140% 5位		
手順	手順		×		手順	手順		×		手順	手順		×		手順	手順		×		手順	手順		×		手順	手順	